

(2023年版改訂部の解説)

2023年版に於ける改訂は、以下の内容について見直しや追記、修正を行った。

IV.加工

F.線状加熱法-1.表面の最高加熱温度について、軟鋼の記載がこれまで無く、品質判断基準の根拠に乏しかった。一方で一部を除く軟鋼の製造方法や炭素当量について、高張力鋼と比較して熱影響が少ないと言える。よって解説欄に、軟鋼については標準温度範囲を規定しない旨、追記した。

VI.船型確保

A.主要寸法について、L=100m未満の小型船の記載が無かった。各社の建造実績より、従来の標準範囲が小型船にも適用できることがわかったため、内容を修正した。

VIII.仕上

H.表面欠陥-1.傷について、I.材料のきずとの違いを明確化するため、表記を見直した。